

# 緩和策と適応策の「ベストミックス社会」実現に向けた国づくり

## ◎気候変動対応の見通し

- ・緩和策、適応策のいずれも、単独ではすべての気候変動の影響を避ける事はできない。
- ・適応は、特に至近の影響への対処において不可欠となる。
- ・気候変動に加え、高齢化など国家の経済社会状況も変化⇒広い意味の社会適応が必要。

## ◎緩和策と適応策が両輪となった「ベストミックス社会」の実現が必要

- ・最善の緩和策を講じた上で、気候を含む地球規模の変化に社会全体で適応
- ・緩和策同様、適応策実現に向け科学技術が牽引

←方策のベストミックス→

### ◆緩和策(低炭素化の視点)

●カーボン・ミニマムの実現

●豊かさを実感できる簡素な暮らしへの志向

●自然との共生

### ◆適応策(気候変動に賢く適応する視点)

①気候変動に柔軟に対応できる安全・安心な国土・都市づくり

②健康で快適な国民生活と元気で豊かな地域の実現

③国民一人ひとりが行動できる環境づくり

④ベストミックス社会形成のための国際連帯

目指すべき姿

◎気候変動に柔軟に対応した、豊かで活力ある日本

# ベストミックス社会 実現のための骨子(案)

## ①気候変動に柔軟に対応できる安全・安心な国土・都市づくり

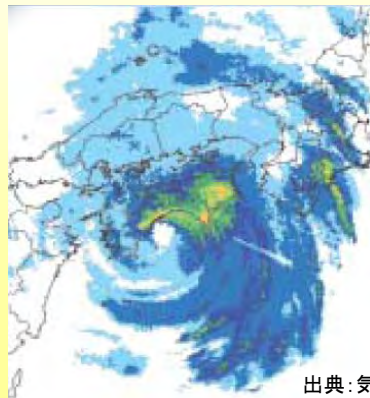
頻発・激化する豪雨、洪水、高潮、土砂災害などに、設備とソフト施策の組み合わせで柔軟に対応する、安全で安心な国土づくりを行う。また、地域の特性に合った施策の組み合わせで、渇水の頻発、水質悪化、ヒートアイランド現象の増加など、都市を直撃する気候変動の影響を緩和する。さらに、変化する自然生態系のモニタリングと保全を図り、豊かで多様な自然環境を守る。

対策を牽引する  
科学技術例

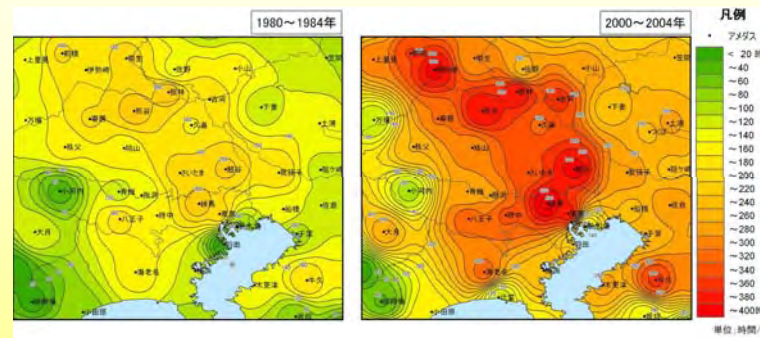
- ・高度な気候変動予測モデルと連動した影響予測モデルの開発
- ・自動海洋観測機器や観測船、人工衛星による海洋・地球観測技術
- ・大規模・重大災害の予測、観測、対応技術、総合水資源管理技術
- ・環境適応モデル都市の構想とそれを支える総合技術
- ・自然生態系のモニタリングや固有種の保全方策

等

平成16年台風第10号の雨雲の様子



出典: 気象庁HPより



関東地方における30°Cを超えた延べ時間数の広がり  
(5年間の平均時間数)

出典: 環境省HPより

自然生態系のイメージ



# ベストミックス社会 実現のための骨子(案)

## ②健康で快適な国民生活と元気で豊かな地域の実現

気候変動に順応した多様な農業活動の展開や、熱中症・感染症の未然防止、生活パターン変化に対応した省エネルギー方策や新産業創出など、国民生活に直結する気候変動の影響を緩和し、豊かで快適な国民生活の維持、増進を図る。低炭素・影響適応型生活を可能にする公共交通モビリティの改善、土地・既存施設の有効活用を行い、活力の維持と低炭素・影響適応型生活の両立を可能にする地域づくりを進める。

対策を牽引する  
科学技術例

- ・イネゲム研究の成果活用による高温・乾燥・塩害等に耐性の作物の開発
- ・野菜工場、干ばつ対策など食糧自給率向上のための技術開発
- ・感染症の早期発見や予防、熱中症対策の技術開発
- ・高性能の断熱や防水・防湿を実現する新材料の開発
- ・地産地消など多面的効果のある地域モデルの構想
- ・地域政策立案に資する将来人口やライフスタイル変化予測技術 等

野菜工場のイメージ



出典：植物工場普及振興会HP

熱を伝えにくい複層ガラス



出典：社団法人  
日本建材・住宅設備産業協会

人と環境にやさしい先進的な交通まちづくり



出典：COCN HP(フォーラム2007 豊田市長 鈴木氏資料)